

2021年11月17日
東海旅客鉄道株式会社

在来線通勤型電車「315系」運転開始について

最新技術を導入して、安全性・安定性のさらなる向上などを実現した新形式の在来線通勤型電車「315系」の運転開始日、投入区間を決定しましたので、お知らせします。

1. 運転開始日

2022年3月5日（土）

2. 投入区間

中央本線 名古屋駅～中津川駅間

3. 投入計画

- ・中央本線の名古屋駅～中津川駅間は、特急車両を除き、2023年度中に車両を315系に統一します。
 - ・315系の投入により、国鉄から継承した車両（211系8両）は、2022年3月中に引退し、当社が保有する全ての車両が会社発足以降に新製した車両になります。
- ※【別紙1】

4. 315系の主な特長 ※【別紙2-1】【別紙2-2】

- ・315系はモーターを駆動する電力変換装置にSiC素子を導入するなど、省エネルギーを図り、電力消費量を約35%低減（211系比）するなど、環境負荷の低減を図ります。
- ・このほか、安全性・安定性のさらなる向上、バリアフリー設備の充実やセキュリティの強化、さらにAIを活用した冷房機能の向上や座り心地の向上などにより、「優しく安心感のある快適な移動空間」を提供します。



エクステリア



インテリア

315系へ取替

211系:250両
1986~1990年新製



213系:28両
1988~1990年新製



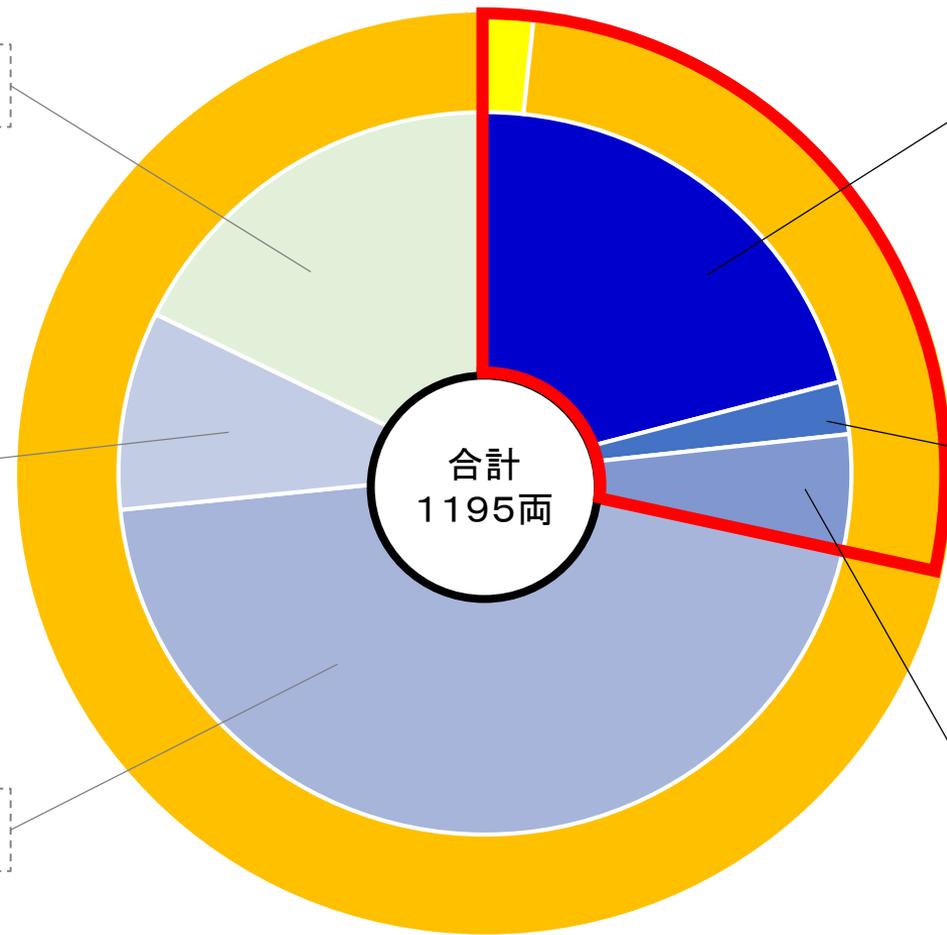
311系:60両
1989~1990年新製



特急車:212両
1988~1998年製造

普通気動車:106両
1993~2015年製造

313系電車:539両
1998~2014年製造



2021年11月現在

- 会社発足以降到新製
- 国鉄から継承(8両)⇒2022年3月中に引退

315系の投入により、当社が保有する全ての車両が会社発足以降到新製した車両になります

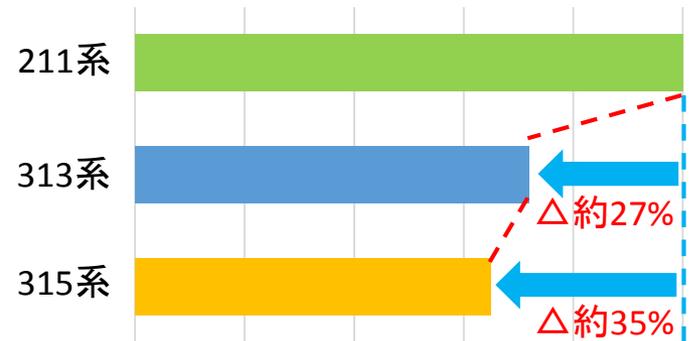
【車両性能】

○環境負荷の低減

- ・電力変換装置に高効率素子(SiC素子)を採用し、電力消費量を35%低減(211系比)
- ・客室灯と標識灯に、長寿命かつ省電力のLED灯を採用

○安全性・安定性のさらなる向上

- ・ATS-PTなどの主要機器の2重系化や台車等の振動検知装置により信頼性を向上
- ・非常走行用蓄電装置(※)を搭載し、停電時などに最寄り駅まで走行が可能
(※)2022年夏以降、順次搭載開始予定



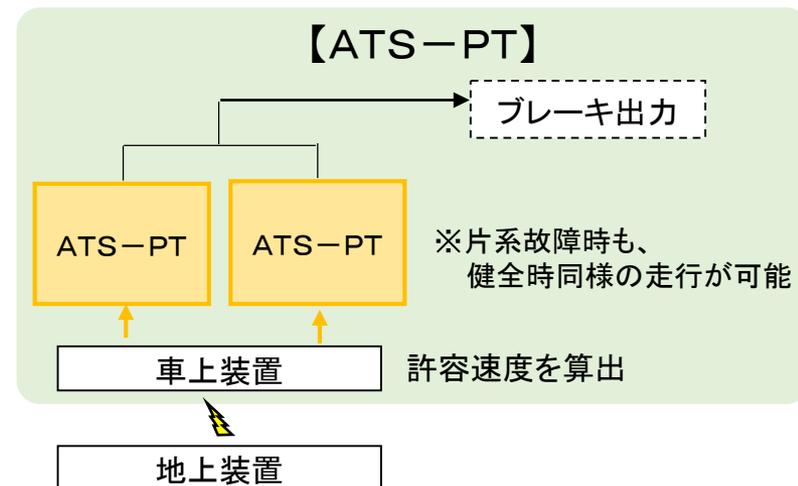
当社在来線電車の電力消費量の比較



客室灯



標識灯



【車内設備】

○バリアフリー設備の充実

- ・全車両に車椅子スペースを設置
- ・全編成に車椅子対応トイレを設置
- ・車両とホームの段差を縮小



車椅子スペース

○セキュリティの強化

- ・1両につき5箇所的車内防犯カメラを設置
- ・1両につき3箇所非常に非常通話装置を設置



車椅子対応トイレ

○冷房機能の向上

- ・冷房能力を約3割向上(211系比)
- ・AIによる自動学習・制御最適化機能を導入(国内初)

○座り心地の向上

- ・一人あたりの座席幅を1cm拡大(211系比)
- ・座席端部の袖仕切りを大型化



車内防犯カメラ



非常通話装置